

安全・適正就業だより

令和4年11月10日発行

〈第6号〉

編集・発行 公益社団法人寄居町シルバー人材センター 安全・適正就業委員会

安心安全について考える



委員 田島 博之

◆日常生活における

安心安全について

生活の安心安全について日々の暮らしの視点から考えてみたいと思います。特に注意しなければならぬことは、毎日の健康を維持することです。快眠・快食(栄養)・運動を心がけていき毎日を充実した生活になるよう努力することだと思えます。健康的な生活が精神的な充実をもたらし、生活にメリハリをつけ心の安心安全に繋がります。

◆生活での転倒予防は

ぬれている所等はこまめに乾かす、びやすいので気をつけましょう

例えば…台所・風呂場

外では、落ち葉の上、雨の日の横断歩道の上、雨の日のマンホールの上
かいだんや段差のある所は転びやすいので気をつけましょう

例えば…敷居、階段・玄関、ちよつとした段差、目の不自由な方の点字ブロック

上述した点を意識していただくと、怪我を回避でき安心安全になります。

◆就労時の

安心安全について

私達は現在寄居シルバー人材センターに所属し就労しています。毎日の就労や就労日数が限られている方も大勢います。勤務日には、疲労を残しての就労は思わぬ事故になりやすいです。従って、就労はいつも元気でできるように体調を整えておきましょう。就労時には

仕事に合った服装に着替え、仕事にどんな危険があるかを予想しておき、対策を考え、もし怪我が起きても大事にいたらないようにしておくことが就労時の安心安全になります。

◆地球温暖化に伴う

自然災害の増加

台風の大規模化にともなう、集中豪雨・強風・地震の活発化等しつかり備えることが生活の安心安全になってきます。「備えあれば憂い無し」です。

例えば、家具の転倒防止、非常食の準備、携帯ラジオ、懐中電灯等用意することが求められています。日頃からもし大型の台風がきたら、避難場所はどこか、土砂災害が起こりやすい所等、行政が用意してくれたハザードマップなどで確認しておくことがとても大切なことです。いつでも自然災害が

来るかも知れない日本列島に住む以上、災害に対する備えを準備しておく事が安心安全につながり、生活する一歩になります。



巡視を通して



委員 大久保 郁子

シルバーに入会して8年、草刈・植木班の一員として、主に植木の剪定を行っていています。草刈り・植木班に所属する女性は、私一人ですが、何不自由なく仕事を続けてこられたのは、会員の皆様の温かなご理解とご協力あつてのことと大変感謝しております。また、今日ま